2026 年度　第 1 回「産学連携委員会」報告書

日　　時	2026 年 5 月 25 日（月）16 時 00 分～17 時 30 分
場　　所	事務局会議室と Web 会議
出 席 者	（敬称略：順不同）会議室参加：勝山、草川、冨澤、青木、岩本、山田、佐野、新城、金澤美、河原、福島、串山、滋野、木内、北園、飯野、田村、水野、入山、山崎海、中野、増田、畑、萩原、豊田、東、田中、三野、永井、安川　Web：富樫、中川、長田、堀岡、棚池、村上、庄野、村田、矢島、飯塚佳、佐藤恵、岡田、内村、小池、鈴木義、べ、松川、金澤江、森下、福永、島田、浅野、冨米野、三木、西巻 オブザーバー参加：小谷、森山、松井　事務局（文責）：色川

議題

①直近事業計画と日程の確認、2026 年度委員会スケジュール、協会事業スケジュールの告知を事務局より行った。
今年度新たに、アプリコット山田氏、ネットフォレスト佐野氏を副委員長とした新体制となる。

②「神奈川 IT 就職フェア」の報告と次回への課題：参加学生数: 134 名（全員が専門学校生）外国人留学生は 43 名（全体の 32%）。学生の 8 割以上が午前中に来場となった。
休憩時間の設定: 学生から「休憩時間がない」との声があり、次回は休憩時間の導入が検討する。
ブース配置: 会場端のブースに学生が来にくい課題が指摘され、動線や案内表示の工夫が次回への検討事項となる。
企業案内の改善: 学生を誘導する際に、企業の特色がわかるマトリクス表のような資料があると分かりやすいとの意見があった。
開催時期: 4 月開催について、専門学校側からは学生が動き出すタイミングとして適切との意見があった一方、企業側からはより早期の開催を望む声もあり、最適な時期について引き続き検討が必要。
アンケート: 今後は企業側・学生側双方からアンケートを収集し、データに基づいた改善を目指す。

③各キャリア支援グループから活動状況と報告を行った。（委員会資料参照）　今後も各校での学内合説や業界セミナーなど多くの学校・学生との接点作りを目指す。各メンバーにおいても、積極的な参加をお願いしたい。

④インターンシップサイト「kia.career」の活用：産学連携委員会が立ち上げたインターンシップ情報サイト「kia.career」への掲載企業が伸び悩んでいる（現在 10 数社）ため、積極的な登録を呼びかけた。申込期限は 6 月 30 日まで延長。「1day 仕事体験」なども対象とし、掲載のハードルを下げる工夫も検討が必要。企業は自社ページの情報を最新に保つよう協力を求めた。

⑤SE 講座講師: 2026 年度の新規 SE 講座講師として 4 名が採用された。学校・学生との接点作りにも活用出来ることから、来期もメンバー企業からの応募を募った。

⑥情報系専門学校との情報交換会: 6 月 24 日にホテルプラム横浜で開催。現在、企業側 60 数名、学校側 9 校が登録済み。ディスカッションテーマや採用継続に関するアンケートを募集中。募集〆切 6 月 28 日。

⑦採用関連の情報共有：採用活動におけるルールの遵守: 国からの通達に基づき、採用選考に関するルールの遵守、学業への配慮、各種ハラスメント防止の徹底を呼びかけた。
モンゴル人材の紹介: モンゴルの IT 系高専学生と日本企業を繋ぐ活動を行っている団体から協力の打診があり、情報共有された。興味のある企業は 6 月 4 日に開催されるオンラインセミナーへの参加が可能。

外国人留学生の在留資格について：技術・人文知識・国際業務ビザの更新において、派遣（SES）が前提の場合、提出書類が増え手続きが煩雑になるという入管からの通達が共有された。これにより留学生採用を見合わせる企業が出ているとの報告があり、注意が促された。

専門学校との情報交換会ディスカッションテーマ、インターンシップ実施状況、外国人留学生の採用状況について、6/28 までにアンケートへのご協力をお願いします。

https://forms.gle/bmtckjRQTBJwNTny8

次回 2026 年度第 2 回産学連携委員会は　8 月 25 日（月）の開催を確認し、委員会は終了となった。

以上